

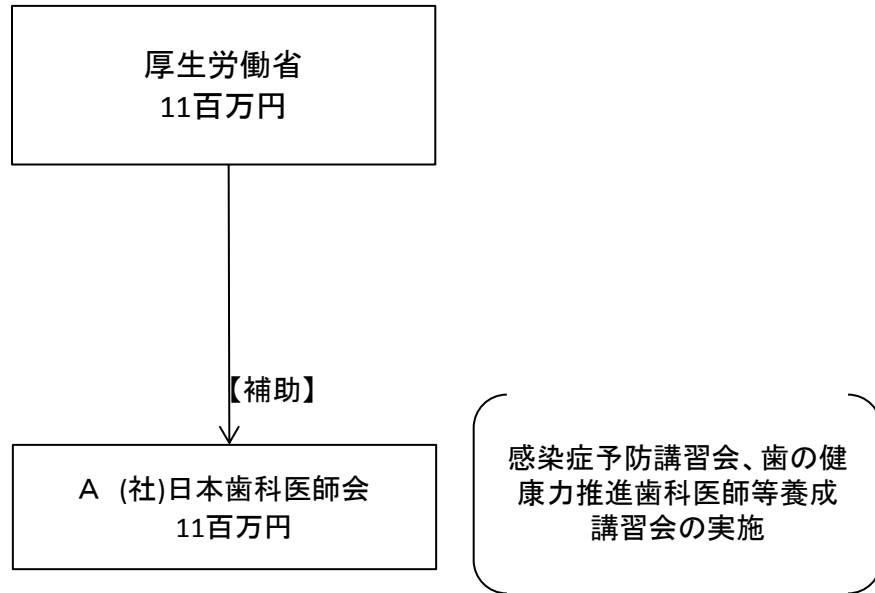
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	歯科関係者講習会		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	①平成10年度～ ②平成20年度～		担当課室	歯科保健課		課長:上條 英之		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-2-2 医療従事者の資質の向上を図ること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	①平成25年度 歯科医療関係者感染症予防講習会実施団体公募要領 ②平成25年度 歯の健康力推進歯科医師等養成講習会実施団体公募要領				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	歯科医師・歯科衛生士等に対して最新の知識や技術の講習を行い、歯科保健医療の質の向上、安全・安心で質の高い医療提供体制の充実を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	① 歯科医療関係者感染症予防講習会 歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士等を対象としたHIVや肝炎等の感染症予防の講習会の実施に必要な経費に対する財政支援を行う。 ② 歯の健康力推進歯科医師等養成講習会 歯科医師、歯科衛生士を対象とした高齢期・寝たきり者等に対する在宅歯科医療、口腔ケア等のプロフェッショナルケアを行う専門家養成講習会の実施に必要な経費に対する財政支援を行う。 補助率 : 定額							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	27	22	21	20	17	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	27	22	21	20	17		
	執行額	19	19	11				
執行率(%)	70.4%	86.4%	52.4%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	開催力所数			数	18	19	16	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	受講者数			人	2,517 (-)	2,522 (-)	2,445 (-)	- (-)
単位当たりコスト	4,499(円/人)		算出根拠	平成24年度執行額/平成24年度受講者数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	衛生関係指導者養成等委託費	20	17	謝金の減				
	計	20	17					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	歯科医師や歯科衛生士の質の向上を目的とし、歯科医療の域格差が応じないよう取り組む必要があり、国が実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	民間等に委ねた場合、実施されない可能性がある。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	歯科医師や歯科衛生士の質の向上を目的としており、優先度の高い事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	実施にあたり、募集团体をHPに掲載して広く公募し、評価委員会にて事業者の選定を行っている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	交付要綱において補助対象経費、補助率等を定め、負担関係は妥当である。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	事業計画書に必要経費を記載させ、不要な経費があれば削除するよう指摘しコスト削減に努めている。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	補助事業であり、交付申請書を審査して事業に必要なものに限定して交付している。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	昨年に比べて開催か所数が減少したため(19県→16県)		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	医療提供体制の充実を図るため実施する必要があり、補助事業での実施がもっとも有効である。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		-	
	-	-	-		-	
点検結果	平成24年度の事業実施にあたっては、昨年に比べて開催か所数の減少(19県→16県)や事業者のコスト削減努力により執行額が減少しているが、講習会の受講者数は2000名以上を確保しており、事業実施は妥当であると考えている。執行状況等を踏まえて、事業の内容・規模・予算額等について改善が必要な場合には、的確に反映してまいりたい。					
外部有識者の所見						
このような講習会は歯科医師会が有料で開催するように改めるべきである。(長崎、井出)						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	歯科関係者講習会については、受益者負担の在り方を踏まえた見直しの観点から、事業者に応分の負担を求めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	患者のニーズに応じた医療を提供するため、在宅医療の推進に取り組んでいる。当講習会は、在宅等に対応出来る歯科医師・歯科衛生士を育成するための質の向上を目的に実施しており、行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、今後、事業者からの応分負担についても検討して参りたい。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	90	平成23年	0076	平成24年	055

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.日本歯科医師会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	研修会講師等への謝金	5			
旅費	研修会講師等の旅費	3			
印刷製本費	研修会資料印刷	2			
その他	通信運搬費、消耗品費等	1			
計		11	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)日本歯科医師会	感染症予防講習会、歯の健康力推進歯科医師等養成講習会	11		